

平成21年11月期 第2四半期決算短信

平成21年7月14日

上場会社名 株式会社 キャンドゥ

上場取引所 東

コード番号 2698 URL <http://www.cando-web.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 城戸 博司

問合せ先責任者 (役職名) 管理部次長 (氏名) 古山 利之

四半期報告書提出予定日 平成21年7月14日

配当支払開始予定日

TEL 03-5944-4112
平成21年8月25日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年11月期第2四半期の連結業績(平成20年12月1日～平成21年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年11月期第2四半期	32,330		574		619		168	
20年11月期第2四半期	32,290	5.3	433	49.6	504	50.6	16	88.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年11月期第2四半期	1,063.28	
20年11月期第2四半期	100.70	91.69

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年11月期第2四半期	24,899	8,265	33.2	52,913.64
20年11月期	25,130	8,453	33.6	53,098.81

(参考) 自己資本 21年11月期第2四半期 8,265百万円 20年11月期 8,453百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年11月期		500.00		500.00	1,000.00
21年11月期		500.00			
21年11月期 (予想)				500.00	1,000.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年11月期の連結業績予想(平成20年12月1日～平成21年11月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	68,229	7.9	1,180	273.8	1,240	192.7	315	217.1	1,980.78

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有
新規 社 (社名) 除外 1社 (社名 株式会社ル・ブリュ)

(注)詳細は、3ページ[定性的情報・財務諸表等]4.その他をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ[定性的情報・財務諸表等]4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

会計基準等の改正に伴う変更 有
以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ[定性的情報・財務諸表等]4.その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年11月期第2四半期	159,202株	20年11月期	159,202株
期末自己株式数	21年11月期第2四半期	2,993株	20年11月期	0株
期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年11月期第2四半期	158,423株	20年11月期第2四半期	159,202株

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計会計期間におけるわが国経済は、世界同時の景気後退の影響を受けて生産と輸出が急速に落ち込む中、個人消費も冷え込みが鮮明になるという厳しい状況となりました。

こうした中当社は、直営事業部、F C事業部、開発事業部毎に専任制を採用するなど営業体制を積極的に見直し、本部から店舗への指導と支援を強化してまいりました。しかしながら、顧客数の増加が、顧客単価の減少を補うまでにはいたらず、その結果、当第2四半期連結累計会計期間の売上高は、予想比で未達となりました。

既存店売上高におきましては、消費者の低価格志向が強まったことにもサポートされ、ほぼ前年並で推移し、回復の兆しも見受けられました。当第2四半期連結累計会計期間はほぼ予定通り新規出店26店舗、退店35店舗となり、第2四半期末の店舗数は799店舗となりました。売上総利益率は計画並み、販売費及び一般管理費、営業外収益費用、特別損益も概ね想定通りであります。

以上の結果、当第2四半期連結累計会計期間の業績は売上高323億30百万円、営業利益5億74百万円、経常利益6億19百万円、当期純利益1億68百万円となりました。売上高の構成は、直営店売上高283億32百万円（構成比率87.6%）、F C店売上高38億69百万円（構成比率12.0%）、その他売上高1億27百万円（構成比率0.4%）であります。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の連結財政状態は、前連結会計年度末と比較して総資産は2億31百万円減少し248億99百万円、また、負債は43百万円減少し166億33百万円となりました。純資産は前連結会計年度末と比較して1億87百万円減少し82億65百万円となり、自己資本比率は33.2%とほぼ同水準を維持しております。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して6億72百万円減少し、35億50百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により減少した資金は1億32百万円。

税金等調整前当期純利益5億15百万円に対して、減価償却費2億96百万円、未収入金の減少89百万円が加算項目、仕入債務の減少11億34百万円、未払金の減少額1億89百万円が減算項目となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は4億83百万円。

主な内訳は、新規出店及び既存店改装による有形固定資産の取得支出3億67百万円等であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により減少した資金は57百万円。

主な内訳は、セール・アンド・リースバック取引による収入7億27百万円、リース債務の返済による支出3億8百万円、自己株式取得による支出2億77百万円であります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年11月通期の業績予想につきましては、第2四半期における業績が概ね計画どおり推移しているため、現時点では平成21年1月16日に発表いたしました予想から変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

株式会社ル・ブリュは当第2四半期連結会計期間において清算が終了したため、連結の範囲から除外しております。なお、同社の清算までの期間の損益及びキャッシュ・フローは、連結損益計算書及び連結キャッシュ・フロー計算書に含まれております。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却及び除却等の見積りを考慮した予算を算定しているため、当該予算に基づく年間償却予定額を期間按分して算定しております、

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として売価還元法による原価法によっていましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として売価還元法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ40,035千円減少しております。

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっていましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号(平成5年6月17日(企業会計審議会第一部会)、平成19年3月30日改正))及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号(平成6年1月18日(日本公認会計士協会 会計制度委員会)、平成19年3月30日改正))が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買処理にかかる会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額をリース契約上の残価保証額とする定額法を採用しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益は9,312千円増加、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ4,176千円減少しております。

5 . 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位 : 千円)

	当第 2 四半期連結会計期間末 (平成21年 5 月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,555,733	4,233,538
受取手形及び売掛金	413,203	432,767
商品	7,091,984	7,391,436
未収入金	2,574,529	2,542,581
その他	290,213	388,028
貸倒引当金	2,576	2,562
流動資産合計	13,923,087	14,985,789
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	2,993,725	2,917,863
その他	1,906,472	1,918,653
有形固定資産合計	4,900,198	4,836,516
無形固定資産	95,908	101,921
投資その他の資産		
敷金及び保証金	4,349,735	4,398,259
その他	1,646,966	836,754
貸倒引当金	16,551	28,524
投資その他の資産合計	5,980,150	5,206,489
固定資産合計	10,976,258	10,144,927
資産合計	24,899,345	25,130,716
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,793,359	11,927,698
1年内返済予定の長期借入金	241,200	241,200
未払法人税等	393,229	371,365
その他	2,431,457	2,031,106
流動負債合計	13,859,245	14,571,370
固定負債		
長期借入金	717,600	838,200
退職給付引当金	302,441	275,879
負ののれん	685,549	704,593
その他	1,068,920	287,236
固定負債合計	2,774,512	2,105,908
負債合計	16,633,757	16,677,279

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,718,759	2,718,759
資本剰余金	2,756,129	2,756,129
利益剰余金	3,085,606	2,996,758
自己株式	277,017	-
株主資本合計	8,283,478	8,471,647
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,878	4,327
為替換算調整勘定	14,012	13,883
評価・換算差額等合計	17,891	18,210
純資産合計	8,265,587	8,453,437
負債純資産合計	24,899,345	25,130,716

(2) 四半期連結損益計算書
(第 2 四半期連結累計期間)

(単位 : 千円)

	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成20年12月 1 日 至 平成21年 5 月31日)
売上高	32,330,218
売上原価	21,024,467
売上総利益	11,305,750
販売費及び一般管理費	10,731,450
営業利益	574,300
営業外収益	
受取事務手数料	36,003
負ののれん償却額	19,043
その他	20,313
営業外収益合計	75,360
営業外費用	
支払利息	17,873
雑損失	10,224
その他	1,877
営業外費用合計	29,975
経常利益	619,685
特別利益	
受取補償金	45,914
前期損益修正益	17,848
その他	7,039
特別利益合計	70,802
特別損失	
固定資産除却損	107,780
減損損失	65,018
その他	2,602
特別損失合計	175,402
税金等調整前四半期純利益	515,085
法人税等	346,636
四半期純利益	168,448

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
 (自 平成20年12月1日
 至 平成21年5月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	515,085
減価償却費	296,604
減損損失	65,018
負ののれん償却額	19,043
長期前払費用償却額	15,299
貸倒引当金の増減額(は減少)	11,958
退職給付引当金の増減額(は減少)	26,562
賞与引当金の増減額(は減少)	3,908
受取利息及び受取配当金	1,867
支払利息	17,873
デリバティブ評価損益(は益)	12,076
為替差損益(は益)	453
固定資産除却損	59,648
固定資産売却損益(は益)	1,697
長期前払費用償却額(特別損失)	256
売上債権の増減額(は増加)	19,564
たな卸資産の増減額(は増加)	299,307
仕入債務の増減額(は減少)	1,134,242
未収入金の増減額(は増加)	89,819
未払金の増減額(は減少)	189,594
その他の資産の増減額(は増加)	148,574
その他の負債の増減額(は減少)	31,018
小計	213,188
利息及び配当金の受取額	295
利息の支払額	17,873
法人税等の還付額	836
法人税等の支払額	329,044
営業活動によるキャッシュ・フロー	132,596
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の払戻による収入	8,016
有形固定資産の取得による支出	367,206
無形固定資産の取得による支出	7,027
投資有価証券の売却による収入	1,989
貸付金の回収による収入	2,878
長期前払費用の取得による支出	11,910
出資金の回収による収入	40
敷金及び保証金の差入による支出	148,554
敷金及び保証金の回収による収入	38,263
投資活動によるキャッシュ・フロー	483,510

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
(自 平成20年12月1日
至 平成21年5月31日)

財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	120,600
セール・アンド・リースバック取引による収入	727,833
リース債務の返済による支出	308,301
自己株式の取得による支出	277,017
配当金の支払額	78,942
財務活動によるキャッシュ・フロー	57,027
現金及び現金同等物に係る換算差額	329
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	672,805
現金及び現金同等物の期首残高	4,223,483
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,550,678

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第２四半期連結累計期間（自平成20年12月1日 至平成21年5月31日）及び前第２四半期連結累計期間（自平成19年12月1日 至平成20年5月31日）

当社及び連結子会社の事業は、日用雑貨及び加工食品の小売店舗チェーン展開を主たる目的とした単一事業であります。従いまして、開示対象となるセグメントはありませんので、該当事項はありません。

〔所在地別セグメント情報〕

当第２四半期連結累計期間（自平成20年12月1日 至平成21年5月31日）及び前第２四半期連結累計期間（自平成19年12月1日 至平成20年5月31日）

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

当第２四半期連結累計期間（自平成20年12月1日 至平成21年5月31日）及び前第２四半期連結累計期間（自平成19年12月1日 至平成20年5月31日）

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) 中間連結損益計算書

区分	前中間連結会計期間 (自 平成19年11月1日 至 平成20年5月31日)		百分比 (%)
	金額(千円)		
売上高		32,290,587	100.0
売上原価		20,865,898	64.6
売上総利益		11,424,689	35.4
販売費及び一般管理費		10,991,052	34.0
営業利益		433,636	1.4
営業外収益			
1. 受取利息	13,057		
2. 事務手数料収入等	36,716		
3. 雑収入	15,663		
4. 負ののれん償却額	35,543		
5. その他	1,899	102,880	0.3
営業外費用			
1. 雑損失	12,704		
2. 為替差損	6,135		
3. デリバティブ差損	12,833		
4. その他		31,673	0.1
経常利益		504,843	1.6
特別利益			
1. 営業補償金収入	26,019		
2. 過年度損益修正益	318	26,338	0.1
特別損失			
1. 固定資産除却損	204,783		
2. 固定資産売却損	1,329		
3. 長期前払費用償却費	10,296		
4. 減損損失	9,182		
5. その他		225,591	0.7
税金等調整前中間純利益		305,590	1.0
法人税、住民税及び事業税	237,424		
法人税等調整額	52,134	289,559	0.9
中間純利益		16,031	0.1

(2) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間連結会計期間 (自 平成19年12月1日 至 平成20年5月31日)
区分	金額(千円)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前中間純利益又は純損失()	305,590
減価償却費	435,376
減損損失	9,182
負ののれん償却額	35,543
長期前払費用償却額	21,149
貸倒引当金の増加額(減少額)	4,869
退職給付引当金の増加額	4,534
受取利息及び受取配当金	13,069
支払利息	142
デリバティブ差損益	9,901
為替差損益	1,738
有形固定資産除却損	109,790
有形固定資産売却損	1,329
長期前払費用償却費(特別損失)	10,296
売上債権の増加額	15,547
たな卸資産の増加額	84,109
仕入債務の増加額(減少額)	2,354,885
未収入金の減少額(増加額)	244,046
未払金の増加額(減少額)	213,395
その他資産の純増減額	55,776
その他負債の純増減額	102,058
小計	3,043,584
利息及び配当金の受取額	9,424
利息支払額	17
法人税等の還付額	217,019
法人税等の支払額	52,637
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,217,374
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	397,566
有形固定資産の売却による収入	979
無形固定資産の取得による支出	13,444
貸付金(割賦売上債権)の発生による支出	2,100
貸付金(割賦売上債権)の回収による収入	1,755
長期前払費用の支出	3,598
出資金の返還による収入	16
敷金保証金の差入による支出	45,477
敷金保証金の返還による収入	99,727
投資活動によるキャッシュ・フロー	359,708
財務活動によるキャッシュ・フロー	
新株予約権付社債償却による支出	3,603,000
長期借入による収入	1,200,000
配当金の支払額	118,296
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,521,296
現金及び現金同等物に係る換算差額	609
現金及び現金同等物の増加額(減少額)	336,979
現金及び現金同等物の期首残高	1,816,871
連結範囲の変更による現金及び現金同等物の増加額	112,710
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,266,561

(3) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前中間連結会計期間（自 平成19年12月1日 至 平成20年5月31日）

当社及び連結子会社の事業は、日用雑貨及び加工食品の小売店舗チェーン展開を主たる目的とした単一事業であります。従いまして、開示対象となるセグメントはありませんので、記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

前中間連結会計期間（自 平成19年12月1日 至 平成20年5月31日）

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

前中間連結会計期間（自 平成19年12月1日 至 平成20年5月31日）

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

6 . その他の情報

該当事項はありません。